

IoT ビッグデータコントロールサービスのグローバル展開 「GICS」スタート

ジグソー株式会社は、Amazon Web Services（以下：AWS）上で世界展開するサービス「グローバル IoT データコントロールサービス(Global IoT Data Control Services:以下 GICS)を 2015 年 8 月よりスタートいたします。

日本において唯一のセキュア LinuxOS(商用・コンテナ型)ディストリビューターとして事業をスタートした当社は、OS カーネルレベルを開発するスキルと、お客様への様々なサービス提供、それらの業務におけるビッグデータを通じて得た膨大なデータコントロールに関するナレッジを保有しております。そのナレッジをベースにして作り上げた「IoT データコントロールサービス」を AWS 上で世界展開するサービス「グローバル IoT ビッグデータコントロールサービス：GICS」として 8 月よりスタートします。

「GICS」は全てのプロセスにおいて当社オリジナルコンポーネントが実装されており「SINGULARITY：コードネーム」(IoT-OS & puzzle smrt tip による A&A モデル実装)や独自プロトコル、独自データロス回避機能、オリジナルスマートマシン、人工知能までの全てをオリジナルで開発・実装しています。

「GICS」を構成するコンポーネント(今回公表分)

- IoT-OS-----SINGULARITY
- IoT データコンバート-----puzzle smrt tip
- IoT データ転送-----BD15(独自セキュアプロトコル for IoT)
- IoT データリザーブ-----Joyero(自動データリザーブ：データロス回避機能)
- IoT データ自動認識-----スマートマシン：JW(自動データ認識・データ制御)
- IoT データストア-----ビッグデータ・ストレージ

当社は今後のデジタルユニバースの広がりにより地球上に広がっていく世界中の IoT データを支え・制御するサービスを、日本国内のみならず、米国ボストン及び英国ブリストルの拠点を通じて、北米エリアやドイツのインダストリー4.0を軸にしたヨーロッパ地域を「GICS」の有望マーケットと捉え、日本が先行している組み込み・IoT 技術の強みを活かしながら AWS 上での大きなサービス拡大を狙います。膨大な IoT データを自動で検知・監視・見守り・支え続ける(コントロール)このサービスが、グローバルに広がるリージョンとエッジロケーションを提供する AWS 上において可能になり、当社サービスのマルチリージョン、マルチランゲージ対応を推進していくこととなります。

なお、当サービスは、アマゾンデータサービスジャパンにおいて弊社が主催するプライベートセミナー及び 2015 年 8 月初旬よりお客様への個別のサービスご説明を通じて詳細をご案内させていただきます。

【お問い合わせメールアドレス】 sales@jig-saw.com

【ジグソー株式会社について】

ジグソー株式会社はIoTビッグデータを活用した自動運用(オートパイロット)サービスと、人工知能およびロボット型ソフトウェアをベースとした自動制御システムをクラウド提供。そのほかにも、システム監視、障害対応からシステム運用全般までトータルサポートなどを行っている国内唯一の次世代総合システム運用カンパニーです。

■会社概要

会社名： ジグソー株式会社 (URL：<https://www.jig-saw.com/>)

証券コード：3914

所在地： 東京本社/東京都港区三田2-10-6 9F

札幌本店/北海道札幌市北区北8条西3丁目32番7階

SCCおよびサテライトオフィス、A&Aラボ/札幌市内

代表者： 代表取締役 山川 真考

設立： 2001年11月

資本金： 3億1,410万円(2015年5月29日現在)

アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、AWS、及び Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。